

参考資料

令和2年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
福 祉 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	令和2年度	令和元年度	伸び率
予算総額	254,267,074千円	238,988,618千円	6.4%
一般会計構成比	13.0%	12.7%	—

【母子父子寡婦福祉資金特別会計】

予算総額	826,717千円	845,424千円	△2.2%
------	-----------	-----------	-------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 少子化対策・子育ての安心支援

P 1	保育所待機児童対策の推進【少子政策課】	1,179,750千円
P 2	一部新規 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取組の推進【少子政策課】	2,205,230千円
P 4	一部新規 病児保育施設の整備促進【少子政策課】	377,677千円
P 5	官民連携による結婚支援の推進【少子政策課】	20,224千円
P 6	一部新規 放課後児童クラブの充実【少子政策課】	5,883,777千円
P 7	一部新規 子供の居場所づくりの支援【少子政策課】	20,966千円
P 8	ひとり親家庭への支援【少子政策課】	1,915,517千円
P 9	一部新規 児童虐待防止対策の充実【こども安全課】	221,754千円
P 10	一部新規 里親委託の推進強化【こども安全課】	101,848千円

2 介護の安心支援

P 11	一部新規 介護人材の確保・定着の促進【高齢者福祉課】 【社会福祉課】	606,806千円
P 14	一部新規 地域包括ケアシステムの構築促進【地域包括ケア課】	83,826千円
P 15	一部新規 家族介護者等支援強化事業【地域包括ケア課】	8,801千円
P 16	新規 民間事業者との連携による高齢者の生活支援【地域包括ケア課】	14,638千円
P 17	一部新規 認知症の人と家族を支援する施策の推進【地域包括ケア課】	58,243千円

P 1 8 市町村介護保険財政支援【地域包括ケア課】 7 9, 9 4 9, 4 4 3 千円

3 障害者の自立・生活支援

P 1 9 一部新規 精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築事業【障害者福祉推進課】
4 5, 5 5 4 千円

P 2 0 障害児(者)福祉施設等の整備促進【障害者支援課】 1, 9 3 8, 1 3 7 千円

P 2 1 医療的ケアが必要な障害児と家族の支援の充実【障害者支援課】
4 0 0, 8 7 2 千円

4 生活の安心支援

P 2 2 虐待通報ダイヤルの運用・虐待防止の啓発【福祉政策課】 4 7, 4 0 5 千円

P 2 3 生活困窮者と生活保護受給者に対する切れ目のない支援【社会福祉課】
3 5 7, 3 1 7 千円

<参考> 福祉3プランの推進

P 2 5 一部新規 埼玉県子育て応援行動計画の推進【少子政策課】 4 9, 8 7 7, 9 9 4 千円
【こども安全課】

P 2 9 一部新規 埼玉県高齢者支援計画の推進【高齢者福祉課】 8 6, 1 0 1, 0 7 5 千円
【地域包括ケア課】
【社会福祉課】

P 3 3 一部新規 埼玉県障害者支援計画の推進【障害者福祉推進課】 4 0, 4 1 4, 4 7 0 千円
【障害者支援課】
【社会福祉課】
【福祉政策課】

保育所待機児童対策の推進

担当 少子政策課 施設整備・指導担当 内線3328
 施設運営・人材確保担当 内線3330

1 目的

保育所等の待機児童を解消するため、認可保育所の整備のほか、企業や幼稚園と連携するなど多様な保育サービスを充実し、新たに5,300人分の受入枠の拡大を図る。

2 予算額 1,179,750千円

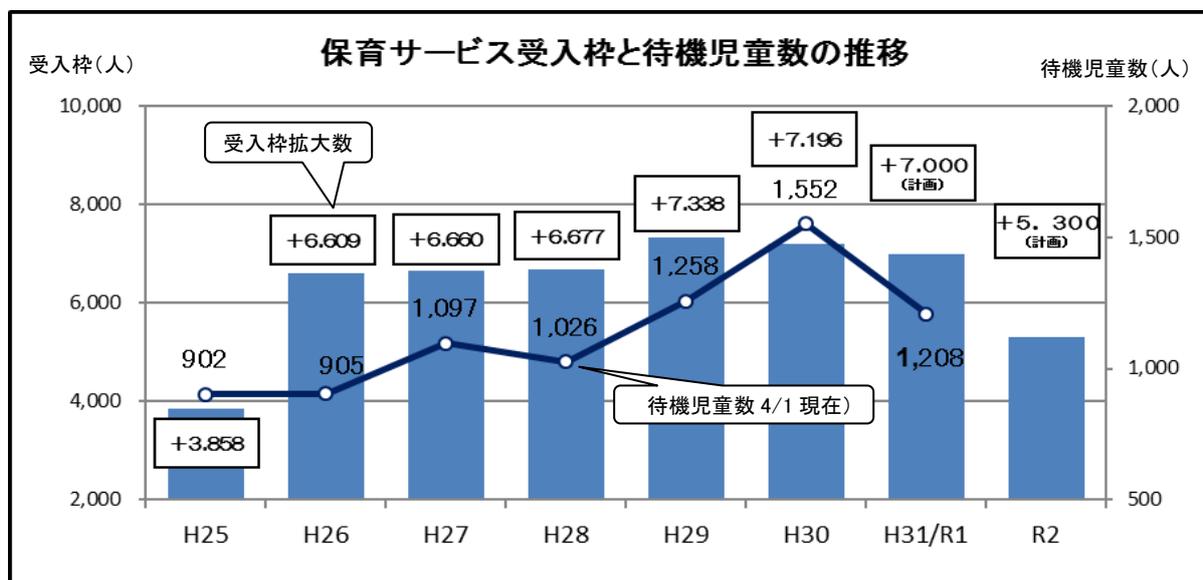
3 事業概要

保育サービス受入枠拡大に向けた取組

区分	内容	予算額	受入枠	
			R2当初	R1当初
保育所	安心こども基金(又は交付金)による保育所整備等	425,140	4,200	4,490
認定こども園・幼稚園との連携	安心こども基金(又は交付金)による認定こども園の整備等	754,610 (586,180)	400	1,150
地域型保育事業	小規模保育などによる低年齢児保育の促進	0	450	640
企業との連携	企業内保育所の促進	(55,525)	50	50
	企業主導型保育事業活用への支援(国事業)	-	200	670
合計		1,179,750	5,300	7,000

※()は他部局予算。

※ 保育所、認定こども園、小規模保育事業の整備の一部は、国から市町村へ直接交付される交付金・補助金を財源とする事業に変更となっており、県としての予算額は計上していないが受入枠としては算入している。



保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取組の推進

担当 少子政策課 施設運営・人材確保担当
内線 3349

1 目的

保育所等の待機児童対策を着実に進めるとともに、市町村と連携し、総合的な保育士確保対策を推進する。

保育士の確保・定着に向けて、保育士養成施設の学生及び保育士試験合格者に対する県内保育所等への就職支援や保育士の職場定着支援を行う。

さらに潜在保育士の活用を図るため、これまでの就職支援に加え、新たに潜在保育士向けの就職準備金貸付事業を創設する。

また、保育所等において低年齢児の受入れ等を手厚く行うための保育士加配に伴う経費を助成するとともに、キャリアアップ研修を実施し、保育の質の向上を行う。

2 予算額 2,205,230千円

3 事業概要

(1) 潜在保育士就職支援事業（新規） 15,000千円

短時間勤務に就く潜在保育士に対する20万円の就職準備金貸付（2年間勤務で返済免除）を新設する。

【令和元年度】		【令和2年度】	
勤務条件	貸付額	勤務条件	貸付額
週20時間以上	40万円	週20時間以上	40万円
		週10時間以上 週20時間未満	20万円

新設

(2) 保育士確保推進事業 101,747千円

保育士求職者向け専用サイトの運営やSNSによる情報発信等により、潜在保育士の保育所等への復帰を支援するとともに、新卒保育士向けの就職準備金貸付を実施することにより、保育士の確保を図る。

- (3) 安心・元気！保育サービス支援事業費 1, 231, 560千円
保育所等において低年齢児や障害児、アレルギー児の受入れや1歳児保育を手厚く行うための保育士加配に伴う経費を助成する。
- (4) 保育士宿舎借上補助事業 167, 772千円
保育士の就業継続を図るため、国の「保育士宿舎借り上げ支援事業」を実施する市町村と保育所等に対して上乗せ補助を行い住居費負担軽減の取組を支援する。
- (5) 保育士研修等事業 666, 752千円
保育士の専門性を高め、キャリア形成に応じた処遇改善につなげるため、保育士等キャリアアップ研修を開催するとともに、保育所等における保育士の業務負担を軽減するための保育補助者の配置に要する費用等を助成する。
- (6) 保育士・保育所マッチング支援事業 15, 350千円
潜在保育士等の就職を促進するため、「保育士・保育所支援センター」を運営するとともに、県内保育所等で働きたい方を対象とした就職フェアを開催する。
- (7) 埼玉がいいね！保育士就職応援事業 7, 049千円
保育士の県内保育所等への就職を促進するため、保育士試験受験料等を助成するとともに、保育所等の管理者向けのセミナーや、潜在保育士に対する就職説明会のほか、就職後3年未満の保育士に対する就業継続セミナーを開催する。

病児保育施設の整備促進

担当 少子政策課 施設運営・人材確保担当
内線 3330

1 目的

病児保育施設の整備を促進するとともに、病児保育送迎システムのモデル事業を実施する。

2 予算額 377,677千円

3 事業概要

(1) 病児保育施設整備促進事業（新規） 83,336千円

新たに病児保育施設を整備するための経費及び新たに病児保育事業を実施する施設に対し必要な経費を補助する。

(2) 病児保育送迎システム整備事業（新規） 16,023千円

体調不良になった子供を迎えに行けない場合に備えた病児保育送迎システムについて、モデル事業を実施する。

(3) 病児保育事業 278,318千円

病院・保育所等において病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良になった児童への緊急対応を行う保育所等に対し経費を助成する。

官民連携による結婚支援の推進

担当 少子政策課 企画・子育てムーブメント担当
内線 3381

1 目的

結婚を望むが出会いの機会に恵まれない方の希望をかなえ、広域的な結婚支援を行う「SAITAMA 出会いサポートセンター」を運営するとともに、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育てを含めたライフプランを希望どおり描けるように支援を行う。

2 予算額 20,224千円

3 事業概要

(1) SAITAMA 出会いサポートセンターの運営

市町村や企業等との連携により「SAITAMA 出会いサポートセンター」を運営し、広域的で効果的な出会いの機会を提供する。

AIを活用したマッチングシステムと相談員によるサポートを両輪とする支援を実施する。システムでは、希望の相手にお見合いの申込みができるほか、AIが相性のよい相手の紹介を行う。

センターの特徴

1 県、市町村、企業、商工団体などで組織する運営協議会がセンターを運営

2 AIを活用したマッチングシステムとセンターの相談員が伴走支援

3 スマートフォンでお相手検索やお見合い申込みが可能(会員の利便性を考慮)



(2) 婚活イベント・セミナー等の開催

- ・県内各地で市町村や企業と連携した婚活イベントを開催し、より多くの方に出会いの機会を提供する。
- ・セミナー等を通じて若い世代のライフデザインの構築を支援する取組を実施する。



会員企業等と連携した婚活イベント
(写真はR1.7に1周年を記念して実施したイベントの様子)

放課後児童クラブの充実

担当 少子政策課 子育て環境整備担当
内線 3322

1 目的

労働等により昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図るため、授業の終了後に遊び及び生活の場を与える「放課後児童クラブ」の運営に必要な経費を補助するとともに、利用児童の増加等に対応するため放課後児童クラブの整備を促進する。

2 予算額 5,883,777千円

3 事業概要

(1) 放課後児童クラブ等運営費の補助 5,448,516千円

放課後児童クラブの利用児童数、開所日数及び運営形態に応じた運営費の補助を行う。

対象数 1,838か所

負担区分 国1/3、県1/3、市町村1/3など



(2) 放課後児童クラブの整備促進 431,208千円

利用児童の増加に対応するとともに、児童の安全・情緒の安定の観点から、児童数71人以上の大規模クラブから適正規模への移行促進等を図るため、新設整備や既存施設の改修整備などを進める。

対象数 (新設整備) 29か所 (改修整備) 43か所

負担区分 (新設整備) 国2/3、県1/6、市町村1/6など

(改修整備) 国1/3、県1/3、市町村1/3

(3) 放課後児童クラブへの巡回支援事業(新規) 4,053千円

質の高い支援を確保できるよう、助言等を行う巡回アドバイザーを配置し、県内児童クラブに派遣する。

子供の居場所づくりの支援

担当 少子政策課 こどもの未来応援担当
内線 3348

1 目的

子供の居場所づくりを推進するため、出前講座の開催や「こどもの居場所づくりアドバイザー」の派遣等により担い手の発掘を図り、子供の居場所づくりに関わりたい人同士のマッチングや立ち上げ等を支援する。また、子供の居場所づくりの取組をまとめた普及啓発用の紹介動画を制作する。

2 予算額 20,966千円

3 事業概要

(1) 社会全体で取り組む機運の醸成（一部新規） 6,588千円

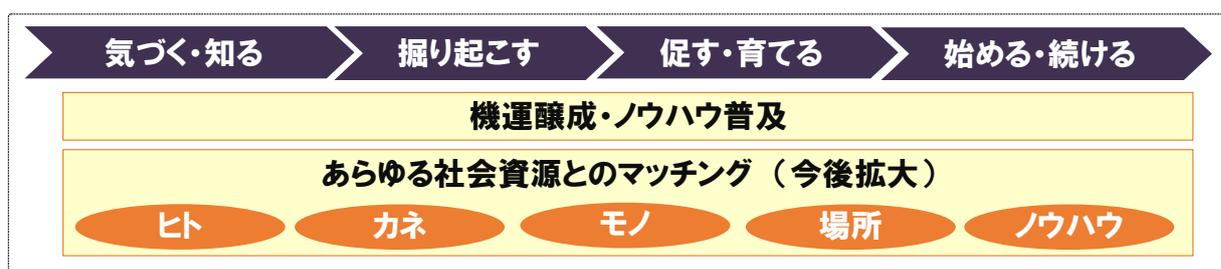
社会全体で子供を応援する機運を醸成するため、社会貢献活動を行う団体・個人のネットワークである「こども応援ネットワーク埼玉」の推進、子供の貧困問題をテーマとした出前講座の開催、子供の居場所づくりの取組をまとめた普及啓発用の紹介動画の制作等を行う。

(2) こども食堂フォーラム・研修会の開催 4,273千円

子ども食堂など子供の居場所づくりに取り組む団体やそれを支援する企業などの先進事例を紹介するフォーラムを開催し、ノウハウの共有と顔の見える関係づくりを行うとともに、担い手の課題の解決やスキルアップにつながる研修会を開催する。

(3) 「こどもの居場所づくりアドバイザー」の派遣 10,105千円

各地域で子供の居場所の立ち上げと安定的な運営などを支援する「こどもの居場所づくりアドバイザー」を各地に派遣しノウハウの普及を図る。



ひとり親家庭への支援

担当 少子政策課 手当・ひとり親家庭支援担当
内線 3337

1 目的

経済的に厳しい環境に置かれたひとり親家庭の自立を促進するため、経済的支援のほかに、母子・父子自立支援員等による生活相談や就労相談、ひとり親の資格取得から職場定着まで切れ目のない就業支援を行う。また、養育費確保に向け、弁護士による無料法律相談や養育費に関する啓発も実施する。

2 予算額 1,915,517千円

3 事業概要

(1) ひとり親家庭の経済的支援の実施 1,783,569千円

経済的に厳しい状況に置かれているひとり親家庭に対して児童扶養手当を支給することにより、児童の福祉の増進に寄与する。

(2) 母子・父子自立支援員等による相談支援の実施 2,510千円

ひとり親家庭の自立支援のため、母子・父子自立支援員や就業支援専門員を各福祉事務所に配置し、各種相談支援を行う。

(3) ひとり親家庭就職・転職応援事業の実施 13,846千円

経済的な自立に向けて就職に有利な資格の取得を支援するため、資格取得に関するセミナーや看護学校受験対策講座を開催する。

(4) 母子・父子家庭自立支援給付金の支給 113,750千円

就職に有利な資格の取得を目指すひとり親に対し、指定講座の受講料の一部や、養成機関で学ぶ間の生活の負担軽減を図るための給付金を支給する。

(5) 母子・父子福祉センターの運営 1,842千円

ひとり親家庭の生活の質の向上のため母子・父子福祉センターを運営し、養育費に関する法律相談や、パソコン教室など就業支援講座を実施する。

児童虐待防止対策の充実

担当 こども安全課 総務・児童相談担当
内線 3335

1 目的

北部地域の一時保護所不足を解消するとともに、熊谷児童相談所の老朽化・狭隘化に対応するため、熊谷児童相談所と一時保護所を一体的に整備する。

さらに10年先を見据え児童相談所全体の整備・機能強化に関する計画の策定を通じ、児童相談所の機能強化を推進する。

また、急増する児童虐待通告に対し、市町村における相談体制の強化の支援や、民間との協働による泣き声通告への対応などを実施する。



2 予算額 221,754千円

3 事業概要

(1) 児童相談所における相談機能の強化（新規）

175,756千円

- ア 熊谷児童相談所・一時保護所の新設に向けた準備
- イ 児童相談所全体の整備・機能強化計画の策定
- ウ 児童相談所の機能強化（弁護士の草加児童相談所への配置等）

(2) 市町村における相談体制強化の支援

27,685千円

- ア 虐待相談の中核となる市町村職員の養成支援
- イ 相談援助技術向上のための支援
(児童福祉司・児童心理司等の経験者を市町村へ派遣等)
- ウ 児童と直接接する学校教職員や保育士等に対する研修の実施

(3) 民間との協働による泣き声通告などへの対応

18,313千円

児童の安全確認のうち、リスクの低い案件を外部委託

里親委託の推進強化

担当 こども安全課 総務・児童相談担当、養護担当
内線 3345・3332

1 目的

里親委託の推進を図るため、民間と協働して、登録里親への委託促進と受託里親への一貫したサポートを実施する。

また、委託に向けて里親と里子が面会交流を行う経費を補助するなど、里親委託を推進する。

2 予算額 101,848千円

3 事業概要

(1) 里親しっかりサポート事業（一部新規） 11,853千円

- ア 未委託里親に対する先輩里親宅での実習等を継続的に実施
- イ 先輩里親が定期的に訪問し、新たに受託を開始する里親を支援
- ウ 里親が受託に向けて面会交流を行う交通費等の一部を補助

(2) 里親フォスタリング事業 48,000千円

民間による里親のリクルート、研修、委託後のサポートまで包括的に行う里親フォスタリング事業を実施

(3) 里親支援事業 9,995千円

- ア 里親認定のための研修を実施
- イ 里親入門講座の開催及び里親制度の普及啓発等を実施

(4) ファミリーホーム開設支援事業（新規） 32,000千円

ベテラン里親によるファミリーホーム開設費用を助成

- カ 離職した介護職員の届出システム事業** 10,398千円
国のシステムを活用して就職に役立つ情報を積極的に提供し、離職した介護職員の復職を支援する。
- キ 福祉・介護人材育成促進事業** 20,360千円
介護人材の確保・定着を図るため、将来、県内の社会福祉施設等への就職を希望する学生に対する修学資金及び離職後に再就職する介護職員（潜在介護職員）に対する就職準備金の貸付けを実施する。
- ク 市町村による介護人材確保支援事業** 10,000千円
市町村が行う介護に関する入門的研修の実施から介護事業所とのマッチングまでの一体的支援に対して補助する。
- ケ 外国人のための環境整備事業（一部新規）** 28,050千円
介護事業所が外国人介護人材の受入にあたって、日本語能力の習得に係る費用及び住居費を負担した場合に経費の一部を補助する。
- コ 介護福祉士を目指す外国人留学生の応援事業** 12,000千円
介護福祉士養成施設が、在学する外国人留学生に対して日本語学習や国家試験対策等の専門知識習得のための課外授業を実施した場合に、その経費の一部を補助する。

(2) 介護人材の定着

- ア 介護職員資格取得支援事業** 30,400千円
介護現場で働きながら介護福祉士実務者研修を受講した者及び介護職員初任者研修を受講した者に対して、研修受講料の一部を補助する。
- イ 介護人材バンク事業** 3,543千円
介護職員の休暇取得、研修受講、短時間の子育て支援などの際に、必要に応じて代替の職員を紹介する。
- ウ 介護ロボット普及促進事業** 30,000千円
介護ロボットを購入又はレンタルした介護事業所に対し、経費の一部を補助する。



- エ 介護ロボット活用の支援（新規） 2,720千円
 管理者層やサービス提供に関わる実務者層ごとに介護ロボットの活用方法等に関する研修を開催する。
- オ 介護現場におけるICT導入支援事業（新規） 5,055千円
 ICT導入に係るセミナーの開催やモデル事業所に対してアドバイザー派遣を行うとともに、介護システムの導入費の一部を補助する。
- カ 新任介護職員定着支援事業 5,100千円
 新任介護職員を対象に研修や交流イベントを実施する。
- キ 介護支援専門員研修受講支援事業 41,000千円
 研修実施機関に対して必要経費の一部を補助する。
- ク 介護職員医療的ケア技術向上事業 13,648千円
 特別養護老人ホームの入所者の重度化に対応するため、介護職員が喀痰吸引等研修を受講した場合、研修受講料の一部を補助する。

（3）介護のイメージアップ

- ア 介護の魅力PR等推進事業 19,539千円
 介護の魅力をPRするため、県内介護事業所に勤務する介護職員で構成する介護の魅力PR隊による大学・高校等への訪問や県外での人材募集活動等を実施する。



- イ 介護職員永年勤続表彰事業 276千円
 永年勤続の介護職員（勤続20年及び10年）を表彰する。
- ウ メッセージカード事業 1,781千円
 介護職員等への感謝の気持ちなどをメッセージカードで伝える運動を推進する。

地域包括ケアシステムの構築促進

担当	地域包括ケア課	地域包括ケア担当	内線	3 2 5 6
		総務・介護保険担当	内線	3 2 5 5

1 目 的

団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療・介護・介護予防、生活支援などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて市町村を支援する。

2 予 算 額

83,826千円

3 事業概要

- (1) 地域包括ケア総合支援チーム派遣事業 7,102千円
市町村の個別の状況に応じた地域包括ケアシステムを構築するため、全ての市町村を対象に、自立支援、介護予防、生活支援などの取組をオーダーメイド・伴走型で支援する総合支援チームを派遣する。
- (2) 地域包括ケアシステム構築促進事業（一部新規） 45,883千円
地域ケア会議、介護予防、生活支援などの事業を担う市町村職員等の育成、民間事業者向け普及啓発ツールの作成など、市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援する。
- (3) 地域包括ケアシステム広域支援事業 18,543千円
県内10か所に設置している地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと協力医療機関の連携により、地域で活動できるリハビリテーション専門職を育成し、市町村の介護予防事業等に派遣することで、地域包括ケアシステムの構築を支援する。
- (4) 看取り体制強化事業 10,654千円
介護施設等の管理者や職員向けに研修を実施するとともに、介護施設等へ講師を派遣することにより、職員のスキルアップを図り、介護施設等における看取り体制の強化を図る。
- (5) 要介護度改善等促進事業 1,644千円
介護事業所における自立支援・重度化防止の取組を促進するため、利用者の要介護度の維持・改善等に積極的に取り組む事業所を評価・公表する。

家族介護者等支援強化事業

担当 地域包括ケア課 地域包括ケア担当 内線 3 2 5 6

1 目的

家族介護者への支援体制を強化するため、地域包括支援センター職員を対象とした研修を実施し、介護者に対する相談支援体制の強化を図る。

また、家族介護者やヤングケアラーの実態を調査し、支援ニーズを把握するとともに、今後の支援のあり方や具体的支援の内容について有識者懇談会で検討する。

2 予算額 8,801千円

3 事業概要

(1) 地域包括支援センター相談体制の強化

家族介護者からの相談に対応できる職員を養成するため、地域包括支援センター職員を対象に研修を実施し、地域包括支援センターにおける介護者支援体制を強化する。

(2) 家族介護者等に関する実態調査（新規）

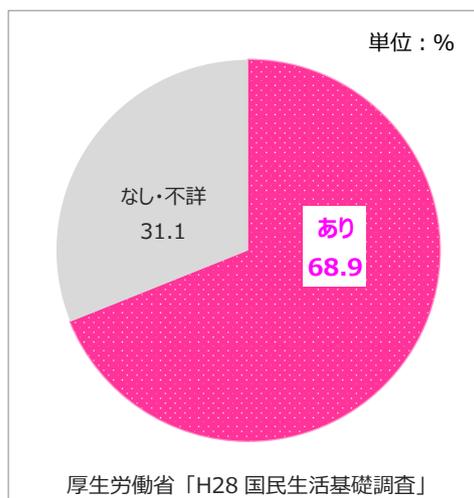
家族介護者やヤングケアラーに関する実態を調査し、支援ニーズを把握する。

(3) 家族介護者等支援に関する有識者懇談会（新規）

家族介護者やヤングケアラーに対する今後の支援のあり方等について有識者懇談会で検討する。

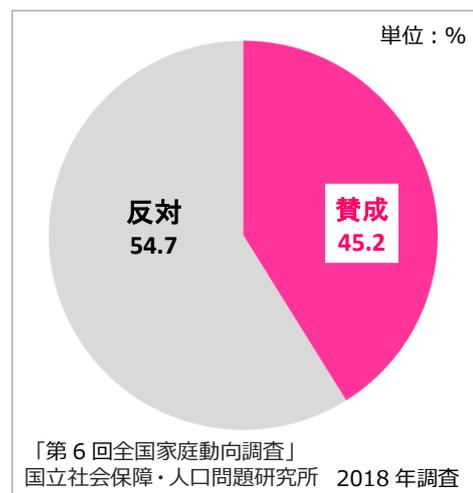
主な介護者の状況

～同居の主な介護者のストレスの状況～



同居の主たる介護者の
約7割がストレスあり

～親の介護は家族が担うべきか～



意識は徐々に変わりつつあるが、
「家族が介護するのが当たり前」
という考えがまだまだ根強い

民間事業者との連携による高齢者の生活支援

担当 地域包括ケア課 地域包括ケア担当 内線 3 2 5 6

1 目 的

民間事業者と連携した高齢者応援の気運を醸成し、多様な主体による生活サポートの体制を整備することで、高齢者の生活支援及び介護予防を推進する。それにより、高齢者の安心でいきいきした暮らしを実現する。

2 予 算 額 1 4, 6 3 8 千 円

3 事業概要

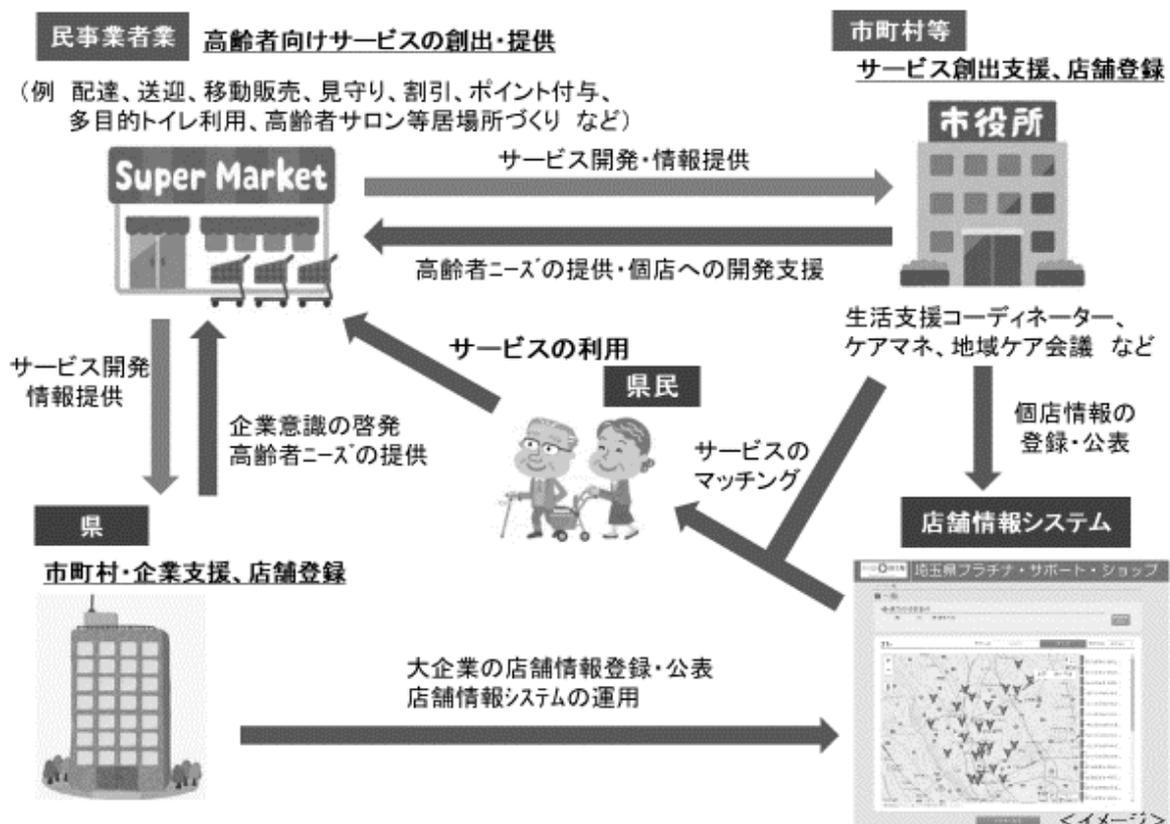
(1) 高齢者に優しいサービス登録制度の創設（プラチナ・サポート・ショップ）

配達、送迎、移動販売、見守りなど高齢者に優しいサービスを実施している店舗を登録するプラチナ・サポート・ショップ制度を創設し、民間事業者のサービス開発と高齢者の利用を促進する。

(2) プラチナ・サポート・ショップ情報システムの運用

店舗情報システムを運用し、店舗のサービス情報を地図等で見える化することで、高齢者本人やその家族、ケアマネジャーなどによる活用を促し、サービスと高齢者とのマッチングを図る。

【プラチナ・サポート・ショップ イメージ】



認知症の人と家族を支援する施策の推進

担当 地域包括ケア課 認知症・虐待防止担当
内線 3251

1 目的

認知症に関する正しい知識の普及啓発等により、認知症の人とその家族や認知症介護に携わる介護者等を支援する。

2 予算額 58,243千円

3 事業概要

- (1) 認知症ケア支援事業費 23,392千円
認知症高齢者の介護の質を向上させるための研修や、医療関係者を対象とした認知症対応力向上研修等を実施する。また、認知症初期集中支援チーム員及び認知症地域支援推進員に対する研修等を実施し、市町村の体制整備を支援する。
- (2) 認知症ケア技術向上事業 13,550千円
認知症ケアの技術向上を図るチームを設置し、認知症介護施設及び在宅の認知症家族介護者に対し、研修を実施するとともに、身近な地域で認知症ケアに関する技術的な相談ができる窓口の設置を進める。
- (3) 認知症の人にやさしい地域づくり推進事業費 1,753千円
認知症サポーター及びその講師役であるキャラバン・メイトを養成するとともに、市町村認知症連絡会を開催することにより市町村の認知症施策の推進を支援する。
- (4) 若年性認知症の人のための施策の推進 17,152千円
若年性認知症支援コーディネーターを配置し、相談対応や居場所づくり、就労支援を行う。また、セミナー等の普及啓発を行うことにより、若年性認知症の人が社会とのつながりを保ち、生きがいを持って暮らせる環境を整備する。
- (5) 埼玉県認知症施策推進計画の策定（新規） 2,396千円
認知症施策の推進に関する計画を策定するため、認知症の人及び家族の意見を聴くとともに、有識者等で構成する計画策定委員会で施策のあり方を検討する。

市町村介護保険財政支援

担当 地域包括ケア課 総務・介護保険担当
内線 3255

1 目的

【介護保険の円滑な制度運営】

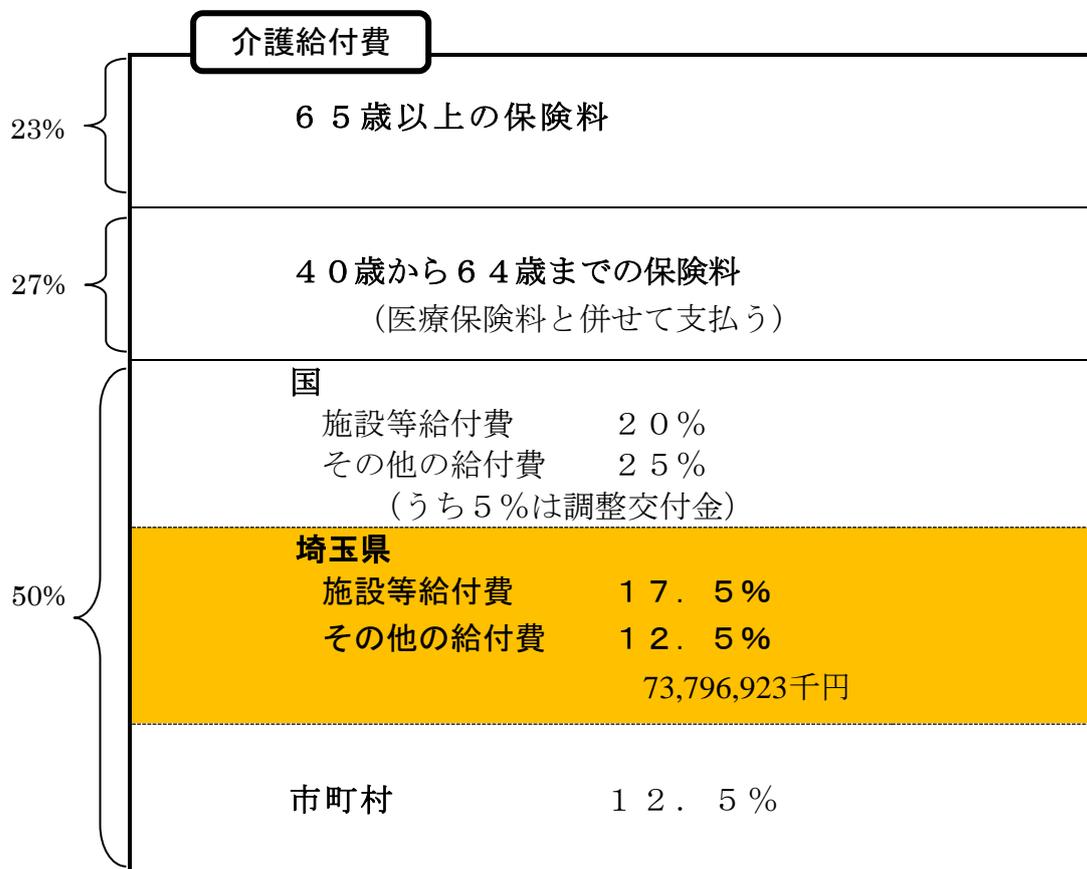
介護保険法に基づき、市町村の介護保険給付及び地域支援事業に要する費用の法定割合を負担するとともに、介護保険財政の安定化を図るため、介護保険財政安定化基金を管理し、貸付等を行う。

また、65歳以上の低所得者の保険料負担の軽減に要する費用を負担する。

2 予算額 79,949,443千円

3 事業概要

(1) 介護給付費負担金	73,796,923千円
(2) 地域支援事業交付金	4,177,351千円
(3) 介護保険財政安定化基金事業	408,430千円
(4) 低所得者保険料軽減負担金	1,566,739千円



精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築事業

担当 障害者福祉推進課 障害福祉・自立支援医療担当
内線 3295

1 目的

精神障害者が地域で安心して自分らしい生活ができるよう、関係機関の連携による地域の実情に応じた支援体制を構築し、精神障害者を支援する取組を推進する。

2 予算額 45,554千円

3 事業概要

(1) 体制構築 4,410千円

各保健所に設置した協議の場を核として精神障害に対応した包括的な支援体制を構築し、広域的な課題に取り組むとともに市町村の取組を支援する。

(2) 人材育成 1,771千円

精神科医療と福祉事業所等の連携を促進するための研修会を保健所ごとに開催し、地域包括ケアを担う人材を育成する。

(3) 広域支援 39,373千円

ア 精神障害に対応したアウトリーチ事業【一部新規】

医療や福祉サービスにつながりにくい精神障害者などを対象として、医師、精神保健福祉士等の多職種によるアウトリーチ（訪問支援）事業をモデル地域において実施する。

令和2年度はモデル地域を拡大し、県内2圏域で実施する。



イ 地域移行・地域定着ピアサポート活動促進事業

精神障害者の地域移行や退院後の孤立を防ぐため、ピアサポート活動を促進する。

ウ 早期退院支援推進事業

新たな長期入院者を防ぐため、精神障害者の早期退院に向けた取組を支援する。

障害児（者）福祉施設等の整備促進

担当 障害者支援課 施設整備・法人指導担当
内線 3313

1 目的

障害児（者）の生活の場である障害者入所施設や通所事業所等の整備費を社会福祉法人等に助成し、障害者の地域生活を支援する。

2 予算額 1,938,137千円

3 事業概要

社会福祉法人等が設置する障害者入所施設や通所事業所の創設等に係る建設費を助成する。

入所施設の創設	1箇所
通所事業所の創設	5箇所
施設の老朽化による改築・大規模修繕等	6箇所
スプリンクラー設備の整備	3箇所
非常用自家発電設備の整備	7箇所
防犯設備の整備	59箇所

医療的ケアが必要な障害児と家族の支援の充実

担当 障害者支援課 地域生活支援担当
内線 3318

1 目 的

医療的ケアが必要な障害児が利用する施設等の受入れを促進するとともに、介助する家族に係る負担の軽減を図る。

2 予 算 額 400,872千円

3 事業概要

(1) 在宅重症心身障害児の家族に対するレスパイトケア事業 66,130千円

医療的ケアを必要とする重症心身障害児等を在宅で介護する家族の精神的・身体的負担を軽減するため、対象児等をショートステイ及びデイサービスで受け入れた施設に対して補助を行った市町村に対し一部経費を補助する。

(2) 医療的ケア児支援体制整備促進モデル事業 6,308千円

医療的ケアが必要な障害児が放課後等デイサービス等を利用できるようにするため、事業者に対して受入れに必要なベッドの設置等の費用及び医療的ケアを行う職員の養成研修費を補助する。

(3) 民間心身障害児(者)施設重度療育等事業 328,434千円

入所施設を利用する医療的ケアが必要な障害児の処遇改善を図るため、看護師等の直接処遇職員を加配する施設に人件費を補助する。



虐待通報ダイヤルの運用・虐待防止の啓発

担当 福祉政策課 政策企画担当
内線 3391

1 目的

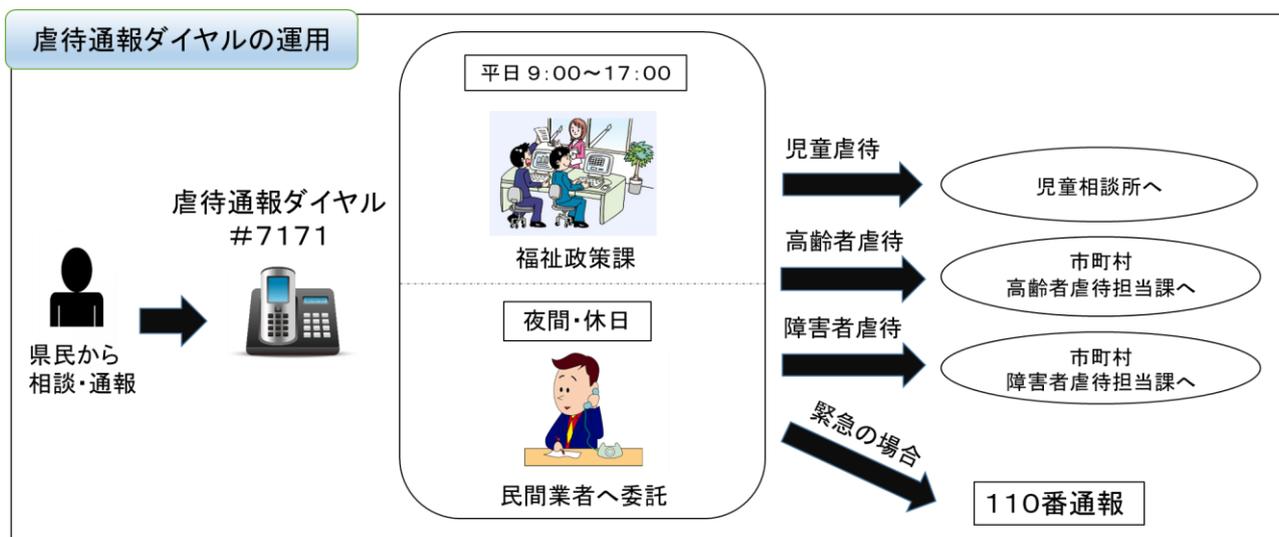
埼玉県虐待禁止条例に基づき、児童・高齢者・障害者の各虐待の通報等を一括して受ける虐待通報ダイヤルを運用するとともに、県民に対する虐待防止の普及・啓発等を行い、虐待の予防や早期発見、早期対応につなげる。

2 予算額 47,405千円

3 事業概要

(1) 虐待通報ダイヤルの運用 43,191千円

児童・高齢者・障害者の各虐待の通報等に24時間365日、一元的に対応する虐待通報ダイヤルを運用する。



(2) 虐待防止の普及・啓発 4,214千円

虐待の早期発見・早期対応につなげるため、普及啓発用リーフレット等により、虐待防止の啓発及び広報を行う。

生活困窮者と生活保護受給者に対する切れ目のない支援

担当 社会福祉課
医療保護・生活困窮者支援担当
内線 3 2 7 1

1 目 的

【生活困窮者と生活保護受給者の自立支援】

町村部の生活困窮者に対し、生活・就労・家計に関する支援員を配置し自立を支援する。

また、町村部の生活保護受給者に対し、職業訓練・住宅・就労自立に関する支援員を配置し、県福祉事務所のケースワーカーと連携して自立を支援する。

あわせて、小学生から高校生までの学習支援事業を実施し、貧困の連鎖の解消を図る。

2 予 算 額 3 5 7, 3 1 7 千円

3 事業概要

(1) 生活困窮者自立相談支援等事業 1 1 1, 7 3 3 千円

ア 自立相談支援事業

相談窓口を設置し、生活困窮者が抱える課題に応じた総合相談、支援プランの作成、関係機関との連絡調整等を行う。

イ 住居確保給付金

離職により住居を失った生活困窮者に家賃相当額を支給する。

ウ 就労準備支援事業

直ちに就労することが困難な生活困窮者に対し、職業訓練や就労体験を提供し就労を目指す。

エ 家計改善支援事業

生活困窮者の家計収支を改善させ生活再建を支援する。

オ 一時生活支援事業

住居のない生活困窮者に一時的な衣食住を提供する。

(2) 学習支援事業

ア アスポート事業（中学生・高校生支援）

67,481千円

困窮世帯の中学生・高校生に対して、学習教室や家庭訪問により学習支援を行い、高校進学・中退防止を支援する。

イ ジュニア・アスポート事業（小学生支援）

132,320千円

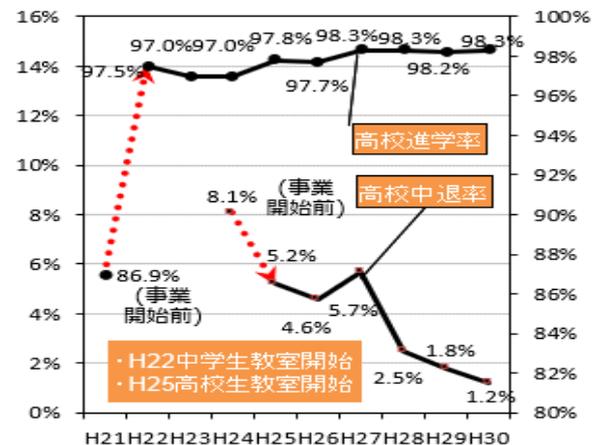
(ア) 困窮世帯の小学生向けの学習・生活支援、体験活動、健康支援を行う「ジュニア・アスポート教室」を運営する。

(イ) 教室の立ち上げや企業・地域団体との連携、ボランティアなどのコーディネート等の支援を行うコーディネーターを市町村に派遣するとともに、市が実施する小学生向けの学習・生活支援事業に対して助成を行う。

学習支援の様子



アスポート事業参加者の
高校進学率・中退率の推移



(3) 生活保護受給者チャレンジ支援事業費

ア 職業訓練支援員事業

3,175千円

技術や資格を持たないなど直ちに就労することが困難な生活保護受給者に対し、技能講習の受講や就労体験を促すなど、就職に結び付くよう支援する。

イ 住宅ソーシャルワーカー事業

6,257千円

無料低額宿泊所入所者など居宅の確保に困難を抱える生活保護受給者に対し、民間アパートや社会福祉施設等への入居支援を行う。

ウ 被保護者就労・自立支援事業

36,351千円

就労相談や求人情報の提供など就労支援を実施するとともに、在宅医療・介護など地域生活における自立支援を推進する。

埼玉県子育て応援行動計画の推進

担当 少子政策課	企画・子育てムーブメント担当	内線	3 3 2 5
	子育て環境整備担当	内線	3 3 2 2
	こどもの未来応援担当	内線	3 3 4 8
	手当・ひとり親家庭支援担当	内線	3 3 3 7
	施設運営・人材確保担当	内線	3 3 3 0
	施設整備・指導担当	内線	3 3 2 8
こども安全課	総務・児童相談担当	内線	3 3 3 5
	養護担当	内線	3 3 3 1
	児童権利擁護担当	0 4 8 - 8 3 4 - 8 7 5 5	

1 目的

「すべての子供の最善の利益」を目指し、「子育て」「親育ち」の支援や地域全体での子育て支援を通じて、子供を生み育てることに希望の持てる社会づくりを進めるため、少子化対策の推進と子育て支援の充実を図る。

2 予算総額 49,877,994千円

3 事業概要

(1) 結婚・出産の希望実現

ア 結婚を望む人への支援、ライフデザイン構築の支援

(ア) SAITAMA 出会いサポートセンター事業 20,224千円

市町村や企業等との連携により「SAITAMA 出会いサポートセンター」を運営し、広域的で効果的な出会いの機会を提供するとともに、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育てを含めたライフプランを希望どおり描けるように支援を行う。

(イ) 少子化対策推進事業 50,000千円

市町村が実施する結婚、出産、乳児期を中心とする温かい社会づくり・気運の醸成の取組や経済的な理由で結婚に踏み出せない低所得者を支援する取組に対して助成を行う。

(2) 「子育て」と「子育て」の支援

ア 「孤育て」にしない地域の子育て力の充実

(ア) パパ・ママ応援ショップ事業の推進 11,435千円

子育て世帯への優待制度である「パパ・ママ応援ショップ」事業や乳幼児連れの外出を支援する「赤ちゃんの駅」登録事業をさらに充実させ、「子育てムーブメント」の社会全体への浸透を図る。

(イ) 地域の子育て支援事業 1,338,964千円

子育て中の親子が交流を深め、不安や悩みを相談できる地域子育て支援拠点及び預けたい人と預かることができる人をつなぐ地域の相互援助組織であるファミリー・サポート・センター等の運営に必要な経費を補助する。

- (ウ) 放課後児童クラブの充実 (一部新規) 5, 883, 777千円
 労働等により昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図るため、授業の終了後に遊び及び生活の場を与える「放課後児童クラブ」の運営に必要な経費を補助するとともに、利用児童の増加等に対応するため放課後児童クラブの整備を促進する。

イ 質の高い幼児教育・保育の充実

- (ア) 多様な保育ニーズに応える受け皿の確保
- a 保育所の整備促進 425, 140千円
 増加する保育需要に対応するため、認可保育所の整備を促進する。
- b 多様な保育施設への支援 30, 276, 799千円
 保育所、認定こども園、小規模保育事業、事業所内保育事業等の運営費の一部を負担するとともに、認可外保育施設の認可化移行を支援することにより、多様な保育施設の需要への対応を図る。
- c 幼稚園における保育の促進 754, 610千円
 保育と教育の機能を併せ持つ認定こども園の整備や、幼稚園の預かり保育の充実を支援し、保育を必要とする家庭が幼稚園を利用しやすい環境を整える。
- d 延長保育 406, 976千円
 民間保育所において、11時間（短時間認定児童は8時間）の開所時間を超えて実施する延長保育に対して、必要な経費を補助する。
- e 一時預かり事業 802, 777千円
 家庭において、一時的に保育を受けることが困難になった乳幼児を預かり、必要な保護を行う一時預かり事業に対して、必要な経費を補助する。
- f 病児保育 (一部新規) 377, 677千円
 保護者が仕事の都合で休めないときに、病気の児童を一時的に保育する病院・保育所等や保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行う保育所等に対して、必要な経費を補助する。
- g 希望時期入園制度の導入支援 24, 553千円
 育児休業を切り上げることなく家庭で子育てできる環境を整備することを目的として、保護者が希望する時期（育児休業復帰時）に入園できる仕組みの導入を支援する。
- (イ) 保育人材の確保 (一部新規) 2, 205, 230千円
 新卒保育士向けの就職準備金貸付に加え、新たに潜在保育士の希望勤務形態に応じた貸付を設け、保育士の確保及び定着を図る。
 併せて、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士等への復職支援やSNSによる情報発信、就職フェアの開催等により、県内保育所への就職を支援する。

ウ 子育てに係る経済的負担の軽減

- (ア) 幼児教育・保育の無償化の実施 9, 122, 815千円
 (一部再掲)

一部新規

令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施により、3歳から5歳までの全ての児童及び住民税非課税世帯の0歳から2歳までの児童の保育所及び認定こども園等の利用料の一部を負担する。

(イ) 多子世帯保育料軽減事業 1, 169, 247千円
多子世帯における経済的負担を軽減するため、保育所等に入所する第3子以降の児童（満3歳未満）の保育料を助成する。

(ウ) 多子世帯応援クーポン事業 561, 548千円
多子世帯の育児にかかる負担を軽減し、子育てしやすい環境を提供するため、第3子以降が生まれた世帯に子育てサービス等の対象メニューを利用できるクーポンを配布する。

(3) 「子供の貧困」対策の推進

ア 子供の居場所づくりの支援（一部新規） 20, 966千円
子供の居場所づくりを推進するため、出前講座の開催や「こどもの居場所づくりアドバイザー」の派遣等により担い手の発掘を図り、子供の居場所づくりに関心のある人同士のマッチングや立ち上げ等を支援する。また、子供の居場所づくりの取組をまとめた普及啓発用の紹介動画を制作する。

イ ひとり親家庭への支援 1, 915, 517千円
経済的に厳しい環境に置かれたひとり親家庭の自立を促進するため、経済的支援のほかに、母子・父子自立支援員等による生活相談や就労相談、ひとり親の資格取得から職場定着まで切れ目のない就業支援を行う。また、養育費確保に向け、弁護士による無料法律相談や養育費に関する啓発も実施する。

(4) 児童虐待防止・社会的養育の充実

ア 子供を虐待から守る地域づくり

(ア) 児童虐待防止対策の充実（一部新規） 221, 754千円
熊谷児童相談所と一時保護所を一体的に整備するとともに10年先を見据え児童相談所全体の整備・機能強化に関する計画の策定を通じ、児童相談所の機能強化を推進する。

あわせて、児童虐待通告の急増に対応するため、市町村における相談体制を強化するとともに、民間との協働による泣き声通告への対応などにより、虐待通告への適切な対応を行う。

(イ) 県・市町村等における相談・支援体制の充実 56, 683千円
児童虐待通告に24時間対応できる体制や子供に関わる様々な相談に適切に対応していく体制を整備する。また、市町村が担う「要保護児童対策地域協議会」の運営や児童相談機能について積極的な支援を行い、強化を図る。

イ 社会的養育の充実

(ア) 里親委託の推進強化（一部新規） 291, 778千円
里親委託の推進を図るため、民間と協働して、登録里親への委託促進と受託里親への一貫したサポートを実施する。
また、委託に向けて里親と里子が面会交流を行う経費を補助するなど、里親委託を推進する。

- (イ) 児童養護施設等入所児童のケアの充実・進学等支援 122,772千円
児童養護施設等の職員の人材確保、生活環境改善、児童の社会活動参加、ケアニーズの高い児童の受入を支援するため必要な経費を補助する。
また、児童養護施設等の児童が希望する進路に進み、円滑に自立することができるよう、高校生入所児童の学習費、部活動費等を補助する。
- (ウ) 児童養護施設退所児童へのアフターケア 29,809千円
児童養護施設退所者等が退所後に自立できるよう、退所者支援センター(クローバーハウス)を運営するとともに、希望の家事業による進学者への低額な住居の提供・相談支援、施設への就労支援チームの派遣、修学継続や自立のための資金の貸付を行う。

埼玉県高齢者支援計画の推進

担当 高齢者福祉課	総務・高齢企画担当	内線	3 2 6 3
	施設・事業者指導担当	内線	3 2 5 4
	施設整備担当	内線	3 2 6 0
	介護人材担当	内線	3 2 3 2
地域包括ケア課	総務・介護保険担当	内線	3 2 5 5
	地域包括ケア担当	内線	3 2 5 6
	認知症・虐待防止担当	内線	3 2 5 1
社会福祉課	施設指導・福祉人材担当	内線	3 2 2 5

1 目 的

豊富な知識や技術、経験を持つ元気な高齢者が、社会の担い手として就業やボランティア活動など様々な分野において活躍できるようにする。

医療、介護、介護予防、生活支援、住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を更に推進する。

2 予算総額 86,101,075千円

3 事業概要

(1) 高齢者の活躍支援と安心して暮らせるまちづくり

ア 大学の開放授業講座の開催及び老人クラブ活動への支援 39,536千円

高齢者の生活の充実や社会参加のきっかけづくりとするため、23大学と協力し、授業科目の一部を開放する。また、老人クラブ等が実施するボランティア活動、教養活動、健康増進活動等の経費を補助する。

イ 高齢者いきいきライフ推進事業費 7,158千円

彩の国プラチナフェスティバル等の事業を通して、高齢者のいきがいの高揚を図るとともに、健康づくりを促進する。

ウ 災害派遣福祉チーム体制整備事業費 1,500千円

大規模災害時に避難所等へ避難した高齢者等に対して相談援助や応急的な介助等の福祉支援を行う災害派遣福祉チームを被災地域に派遣するための体制を整備する。

(2) 住み慣れた地域での暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築

- ア 地域包括ケア総合支援チーム派遣事業 7,102千円
市町村の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めるため、全ての市町村に対し、自立支援、介護予防、生活支援などの取組をオーダーメイド・伴走型で支援する総合支援チームを派遣する。
- イ 地域包括ケアシステム構築促進事業（一部新規） 45,883千円
地域ケア会議、介護予防、生活支援などの事業を担う市町村職員等の育成、民間事業者向け普及啓発ツールの作成など、市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援する。
- ウ 民間事業者と連携した高齢者生活支援事業（プラチナ・サポート・ショップ）（新規） 14,638千円
民間事業者など多様な主体が高齢者をサポートする体制を整備し、高齢者の生活支援及び介護予防を推進する。
- エ 地域包括ケアシステム広域支援事業 18,543千円
県内10か所に設置している地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと協力医療機関の連携により、リハビリテーション専門職を育成し、市町村の介護予防事業等に派遣することで、地域包括ケアシステムの構築を支援する。
- オ 市町村地域支援事業促進事業費 2,804千円
地域包括ケアシステムで中核的な役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するため、市町村職員及び地域包括支援センター職員に対する研修を実施する。
- カ 看取り体制強化事業 10,654千円
介護施設等の管理者や職員向け研修の実施や介護施設等への講師の派遣により、職員のスキルアップを図り、介護施設等における看取り体制の強化を図る。
- キ 家族介護者等支援強化事業（一部新規） 8,801千円
家族介護者への支援体制を強化するため、家族介護者の実態調査を行うとともに、地域包括支援センターの機能強化を図り、市町村における相談体制を整備する。
- ク 定期巡回・随時対応サービス普及促進事業 450千円
事業所の新規参入とサービスの一層の普及を促すため、運営アドバイザーの派遣や情報提供等を行う。

ケ 認知症の人にやさしい地域づくり推進事業費 1,753千円
 認知症サポーター及びその講師役であるキャラバン・メイトを養成するとともに、市町村認知症連絡会を開催することにより市町村の認知症施策の推進を支援する。

コ 若年性認知症の人のための施策の推進 17,152千円
 若年性認知症支援コーディネーターを配置し、相談対応や居場所づくり、就労支援を行う。また、セミナー等の普及啓発を行うことにより、若年性認知症の人が社会とのつながりを保ち、生きがいを持って暮らせる環境を整備する。

サ 高齢者虐待対策事業費 2,826千円
 高齢者虐待防止に関する普及啓発を行うとともに、市町村における高齢者虐待対応、相談窓口、ネットワークづくり等の体制整備を支援する。

(3) 介護保険施設等の整備

ア 特別養護老人ホーム等整備事業費 1,627,952千円
 特別養護老人ホームの創設及び増床等の整備を行う社会福祉法人に対し整備費の一部を補助する。

イ 介護基盤緊急整備等特別対策事業費 1,740,216千円
 地域密着型特別養護老人ホーム等の小規模施設等の整備に要する工事費用等に対する補助を行う。

ウ 施設開設準備経費等支援事業費 1,996,214千円
 特別養護老人ホーム等介護施設の円滑な開設のため、施設の開設準備に要する経費に対する補助を行う。

(4) 介護人材の確保・定着・イメージアップ

ア 介護人材の確保・定着の促進（一部新規） 606,806千円
 介護人材の確保・定着の促進を図るため、介護未経験者・高齢者・生活スタイルに合わせた働き方を希望する者等の就労支援、市町村による介護人材確保支援、外国人人材の受入・定着支援、介護ロボットの普及促進、ICTの導入支援、新任介護職員の定着支援、介護職員の医療的ケア技術の向上支援、介護のイメージアップなどを実施する。

また、埼玉県介護人材確保・定着推進協議会を運営し、介護人材確保・定着に係る取組を全県的に推進する。

(5) 介護保険の円滑な制度運営

ア 市町村介護保険財政支援事業費 79,949,443千円

介護保険法に基づき、市町村の介護保険給付及び地域支援事業に要する費用の法定割合を負担するとともに、介護保険財政の安定化を図るため、介護保険財政安定化基金を管理し、貸付等を行う。

また、65歳以上の低所得者の保険料負担の軽減に要する費用を負担する。

イ 要介護度改善等促進事業 1,644千円

介護事業所における自立支援・重度化防止の取組を促進するため、利用者の要介護度の維持・改善等に積極的に取り組む事業所を評価・公表する。

埼玉県障害者支援計画の推進

担当	障害者福祉推進課	総務・企画・団体担当	内線	3 2 9 4
		障害福祉・自立支援医療担当	内線	3 3 1 5
		社会参加推進・芸術文化担当	内線	3 3 0 9
		障害者スポーツ担当	内線	3 3 0 3
障害者支援課	総務・市町村支援担当	総務・市町村支援担当	内線	3 3 1 9
		地域生活支援担当	内線	3 3 1 7
		施設整備・法人指導担当	内線	3 3 1 3
		施設支援担当	内線	3 3 1 4
社会福祉課	施設指導・福祉人材担当	内線	3 2 7 6	
福祉政策課	政策企画担当	内線	3 3 9 1	

1 目 的

障害のある人が社会の構成員として障害のない人と分け隔てられることなく生活できる社会＝「共生社会」の実現を目標とする「埼玉県障害者支援計画（計画期間：平成30年度～令和2年度）」に基づき、障害者施策の推進を図る。

2 予 算 額 4 0, 4 1 4, 4 7 0千円

3 事業概要

(1) 障害者への理解促進と差別解消

ア 共生社会づくり推進事業 8, 5 8 5千円

障害者差別解消法、共生社会づくり条例及び手話言語条例の普及啓発、ヘルプマークを活用した理解促進、手話普及リレーキャンペーンを実施する。

イ 障害者用駐車場2020青色プロジェクト事業 1, 9 1 2千円

障害者用駐車場の適正利用を図るため、障害者・大学・企業等と協働し、県内各地で障害者用駐車場の青色塗装を実施する。

ウ 障害者差別解消推進事業 5, 3 9 4千円

障害者差別解消法に基づき、県民からの相談窓口の設置、障害者差別解消支援地域協議会の開催を行う。

エ 障害者虐待対策事業 3, 9 8 0千円

障害者虐待防止法及び虐待禁止条例に基づき、障害者支援施設の従事者や管理者、市町村職員等の専門性強化を図るための研修を実施するとともに、障害者権利擁護センターの通報窓口の強化を図る。

(2) 障害者の地域生活の充実・社会参加の支援

ア ホームヘルプサービス事業 4, 510, 703千円

障害児（者）の家庭を訪問し、入浴等の介護、家事援助等を行う事業を実施する市町村に対して、その経費の一部を負担する。

イ 心身障害児通園訓練事業 7, 296, 643千円

在宅の障害児が通所して、日常生活の基本動作、集団生活への適応促進のための指導・訓練を受ける事業を実施する市町村に対して、その経費の一部を負担する。

ウ 障害児（者）短期入所事業 999, 942千円

障害児（者）のいる家庭において、介護者の病気等で介護が困難になった場合に、障害児（者）を一時的に施設等に入所させ、介護等を行う事業を実施する市町村に対して、その経費の一部を負担する。

エ 在宅重症心身障害児の家族に対するレスパイトケア事業

66, 130千円

医療的ケアを必要とする重症心身障害児を在宅で介護する家族の負担の軽減を図るため、ショートステイ及びデイサービスによるレスパイトケアの充実を図る。

オ 医療的ケア児支援体制整備促進モデル事業 6, 308千円

医療的ケアが必要な障害児が地域で安心して生活できるよう、放課後等デイサービス等の受入体制を整備する。

カ 民間心身障害児（者）施設重度療育等事業 328, 434千円

手厚い職員配置を行い、医療的ケアが必要な障害児の処遇改善を図るため、看護師等の直接処遇職員を加配する入所施設に人件費を補助する。

キ 障害者施設等自立支援給付費 19, 921, 096千円

障害者が施設等において障害福祉サービスを受けた時に、自立支援給付費を支出する市町村に対して、その費用の一部を負担する。

ク 地域活動支援センター助成事業 99, 397千円

法定外施設（心身障害者地域デイケア施設、精神障害者小規模作業所）から移行した地域活動支援センターが、移行前と同等のサービス提供を確保するため、運営費助成を行う市町村に対し、助成に要する経費の一部を補助する。

ケ 市町村地域生活支援事業 1, 151, 300千円

相談支援、意思疎通支援等の多様な事業を総合的に実施する市町村に対して、その経費の一部を補助する。

- コ 精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築事業** 45,554千円
精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい生活ができるよう、保健、医療、福祉の関係者による協議の場を設置し、課題の解決に取り組む。また、長期入院患者の地域への移行と、新規入院者の病状安定後のスムーズな退院を促進するとともに、入退院を繰り返す方などに対する訪問型支援をモデル地域で実施する。
- サ 高次脳機能障害者への支援** 19,191千円
高次脳機能障害者が地域で安心して暮らせるよう、高次脳機能障害者及びその家族を支援するための相談事業や職場への定着支援等の就労支援を行う。また、高次脳機能障害に対する理解の促進を図るため、県民や関係機関向けの研修会等を行う。
- シ グループホーム等事業助成費** 3,185,653千円
障害者に対し、グループホーム等のサービスを提供する市町村に運営費等を補助（負担）する。
- ス 障害児（者）福祉施設等施設整備** 1,938,137千円
社会福祉法人等が設置する障害者支援施設、グループホーム等の整備費の一部を補助する。
- セ 民間社会福祉施設整備促進事業費** 415,455千円
障害者福祉施設の建設に際し、社会福祉法人等に整備費の一部を補助する。
- ソ 発達障害児・者への支援** 232,484千円
発達障害の早期発見・早期支援を充実させる拠点として発達障害総合支援センターを運営し、人材の育成や診療・療育体制の強化に取り組む。
- タ 身体障害者補助犬育成事業** 12,542千円
身体障害者の社会参加に資するため、身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬及び聴導犬）の育成及び給付を行う。
- チ 障害者芸術・文化活動の推進** 2,572千円
埼玉県障害者アートフェスティバルを開催し、障害者が取り組む文化・芸術活動を広く紹介する。
- ツ 埼玉バリアフリー文化プログラム事業** 16,864千円
東京パラリンピックの気運を醸成し、レガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」の浸透を図るため、障害者アートの魅力を活かした質の高いイベントを開催する。

テ 障害者スポーツで活力ある社会づくり推進事業 37,948千円
東京パラリンピックを控え、埼玉ゆかりの障害者アスリートを支援するとともに、県民が障害者スポーツを体験できる機会の提供や障害者スポーツを支える人材の育成など障害者スポーツへの理解と参加の促進を図る。

(3) 障害者の就労支援

ア 障害者就業・生活支援センター事業 64,900千円
雇用・福祉・教育等の関係機関と連絡調整を行い、障害者の就業に伴う生活上の支援を行う。

イ 障害者就労施設支援事業 6,539千円
障害者が働くことを実感し、地域で経済的に自立した生活を送るため障害者就労施設を支援し、障害者の工賃向上を図る。

ウ 障害者農業参入チャレンジ事業 12,111千円
障害者就労施設に対し、農業技術指導、農産物の継続・安定した売上を実現することで、障害者の工賃向上を図る。また、農家と障害者就労施設とをマッチングすることにより、施設外就労の機会の拡大を図る。

エ 発達障害者就労支援センター事業 22,000千円
発達障害者に特化した就労支援機関を設置し、就労に関する相談、職業能力の評価、コミュニケーション能力やビジネスマナーを習得する訓練、就職活動、職場定着までの支援を行う。

(4) 障害者への災害対策支援

ア 災害派遣精神医療チーム（DPAT）体制整備事業 1,196千円
大規模災害等が発生した場合に、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う災害派遣精神医療チーム（DPAT）を被災地域に派遣するための体制を整備する。

イ 災害派遣福祉チーム体制整備事業費 1,500千円
大規模災害時に避難所等へ避難した障害者等に対して、相談援助や応急的な介助等の福祉支援を行う災害派遣福祉チームを被災地域に派遣するための体制を整備する。